



奈良県大芸術祭参加

A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ & シンフォニックホーム
合同演奏会

A と Home Concert
あつとほーむ こんさーと
"A-Winds44"2014年 秋の演奏会

2014年11月30日(日)

開場/12:30 開演/13:00

奈良県橿原文化会館 大ホール



Stage 1 *A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラ

指揮：魚谷 昌克

ダンシング アンド ドラミング
Dancing and Drumming

作曲：T. スサート／Tylman Susato 編曲：I. パートフ／Irwin Bertoff
出版：Studio Music Company 演奏時間：約3分

ヴェネチアの魔法
Venetian Spells

作曲：M. エレビー／Martin Ellerby
出版：Studio Music Company 演奏時間：約17分

Stage 2 シンフォニックホーム

指揮：藤井 彩香

交響組曲「ハリー・ポッターと賢者の石」
HARRY POTTER SYMPHONIC SUITE (Harry Potter and Sorcerer's Stone)

作曲：J. ウィリアムズ／John Williams 編曲：R. W. スミス／Robert W. Smith
出版：Alfred Publishing 演奏時間：約8分

「風の谷のナウシカ」 Highlights
Highlights from Nausicaa of the Valley of the Wind

作曲：久石 譲／Joe Hisaishi 編曲：真島 俊夫／Toshio Mashima
出版：Eight Company 演奏時間：約10分

ミッキー・マウス マーチ
MICKEY MOUSE MARCH

作曲：J. ドッド／Jimmie Dodd 編曲：三浦 秀秋／Hideaki Miura
出版：Eight Company 演奏時間：約4分

Stage 3 合同演奏

指揮：魚谷 昌克

ヴィヴァ・ムシカ! (音楽万才)
Viva Musica! (A Concert Overture for Winds)

作曲：A. リード／Alfred Reed
出版：Piedmont Music Company 演奏時間：約5分

アルメニアン・ダンス パート 1
Armenian Dances Part 1

作曲：A. リード／Alfred Reed
出版：Sam Fox Publishing Company 演奏時間：約12分

指揮：藤井 彩香

アルメニアン・ダンス パート 2
Armenian Dances Part 2

作曲：A. リード／Alfred Reed
出版：Birch Island Music Press 演奏時間：約22分

司会：境 貴子

本日は“AとHome Concert(あつとほーむこんさーと)”にお越し下さり、誠に有難うございます。

万葉時代を偲ばせる、大和三山の麓、奈良県橿原文化会館に於いて皆様方と、こうしてお逢いすることができましたことに、合同演奏会一同心より感謝、御礼を申し上げます。ありがとうございます。

本年2014年という年は、シンフォニックホームの創立20周年記念の年、*A-Winds* の15周年記念の年にあたります。本日の演奏会を、それぞれが良き節目として迎える年に、神のいたずらか、まほろばの地にそれぞれ育まれた2つの楽団が、歳月を経て、惹かれ出逢う様導かれ、合同の演奏会の形として実現出来たことに、何か神秘的な感慨深い気持ちです。

高校一年生の時だったかな、吹奏楽を通じて知り合った松原団長。その頃から今も変わらぬ情熱系。人が好きで、また人によって自分の考えや音楽の姿勢を変えない、その熱い人柄が昔から好きで、今でも本当に尊敬しています。高校卒業後シンフォニックホームを結成される際、「これからも、吹奏楽とその仲間を何より大切にしたい、愛称“ホーム”名の通り、言いにくいことでも言い合える本当の家族のように」と、熱っぽく言われてた言葉を、今でもよく覚えてます。今やシンフォニックホームは、奈良県の数有る社会人吹奏楽団の中で名実共にすっかり“老舗”の存在となられて、大活躍され輝かしい成果をも成し得られた20年の活動と偉業は、その思いをブレずに何よりも大切にされ続けた、松原団長の人柄あってのこと。同じ音楽仲間の一員として、心より敬服致しますし誇りにさえ感じています。

個性をふんだんに表現する単独演奏の1部、2部。*A-Winds* は15年間、シンフォニックホームは20年間を、“30分”に凝縮してお届けする合同演奏の3部。本日は、*A-Winds* のメンバーも、その素晴らしい楽団と共にこの舞台を目指して、一緒になって一生懸命練習に取り組んできました。初めて会う互いの楽団のメンバー同士。会話よりも先に、音符を言葉の代わりにと交わり、いつの間にか心も打ち溶け、すっかり旧知の友達のように、休憩時間にはワイワイと話をしていた姿がとても印象に残っている合同練習。

その成果を本日も越しのお客様と一緒に楽しめよう思いを込め一句と共に、互いに交わりあった演奏を披露致します。乞うご期待下さい。

初顔も 歌舞奇曲 祝合同♪

文末ですが、本演奏会開催にあたり、ご協力ご支援賜りました方々に厚く御礼を申し上げますと共に、今後共温かいご支援ご指導の程、宜しく願い申し上げます。

A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ 団長 魚谷 昌克

本日はお忙しい中、“AとHome Concert(あつとほーむこんさーと)”にご来場頂きまして、誠にありがとうございます。

当コンサートは、*A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラの15周年を記念して企画・実現致しました。この場をお借り致しまして、創立15周年を心からお祝い申し上げますと共に、今後益々のご発展をお祈り申し上げます。また、そのような節目に際しまして、今日このようにご一緒出来ましたことを嬉しく思います。

団長の魚谷さんは高校の時に知り合いました他校の1つ上の先輩です。奏者としてそして指導者として非常に尊敬しています。その後何かにつけその背中を追ってきました。私がシンフォニックホームを設立し、吹奏楽を続けようと思わせてくれた人の一人であることは間違いありません。

そんな魚谷団長率いる *A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラ。シンフォニックホームが吹奏楽コンクールにおいて過去8年連続奈良県代表で関西大会に出場できたのも、その存在が非常に大きかったと思います。私共も昨年度20周年を迎え、お客様をはじめ皆様に支えて頂きながらまた新たな1歩を進み始めました。今後も常に努力を重ねていく所存です。何卒よろしく願い申し上げます。

本日はこの2楽団の演奏、更には3部では合同の演奏をお送り致します。それぞれ単独の演奏会では出せないカラーの演奏会だと思っています。最後までごゆっくりお楽しみ頂けたら幸いです。

今日こうして皆様と共に過ごすことができ、団員一同とても嬉しく思っています。今後とも *A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラとシンフォニックホーム共に変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしく願い申し上げます。ご感想などをお手元のアンケートにご記入の上、お帰りの際ロビーにお渡しください。今後の参考とさせて頂きまして共に、今後の演奏会のご案内をさせて頂きます。

最後になりましたが、当演奏会の開催にあたりご支援頂きました関係者各位に厚く御礼申し上げます。

シンフォニックホーム 団長 松原 宏幸

本日は、“AとHome Concert(あつとほーむこんさーと)”にお越し下さり、誠にありがとうございます。

今年で創団15周年を迎える *A-Winds* が、節目を記念した特別企画を、と考案実現したのが、このシンフォニックホームの皆さんとの初めての合同演奏会です。奈良県内で活動する吹奏楽団は数多くありますが、シンフォニックホームはカッパの“カッパちゃん”、*A-Winds* はカメの“タクトルカ”と、偶然にも両団共に河原の生き物をイメージキャラクターとしており、ここにどこか不思議な縁を感じます。

第1部は *A-Winds*。今回披露する「ヴェネチアの魔法」は4回目の定期演奏会“*A-Winds* 4” 2000年春の演奏会で取り上げた曲です。“*A-Winds* 44”を兼ねたこの演奏会を迎えるあたり、“4”と“44”、“4”を合わせて「幸せ」を連想し、15周年を迎えられた幸せを皆様にお届けしたい……そんな想いをこめてこの曲を選びました。

第2部はシンフォニックホーム。第1部とは雰囲気もガラッと変わり、小さなお子様から大人の皆さんまで、きっと誰もがどこかで耳にしたことのあるような曲たちが並んでいます。

それぞれの個性を存分にお楽しみいただいた後の第3部は、合同演奏。吹奏楽の巨匠 A. リードの名曲を、合同ならではの迫力でお届けします。各団それぞれの個性が重なり、お互いに刺激を受け、高め合い、どのような音楽化学反応が生まれるのか……。川の流れるように穏やかに、時に激しく流れてゆく魅力的なメロディを、私たちと共に楽しんでいただければ幸いです。

“*A-Winds*”の“A”と、“Symphonic Home”の“Home”から、“AとHome Concert(あつとほーむこんさーと)”と名付けた今日のこの演奏会。今まで各団の演奏会にお越しいただいたことのある方も、今日初めてふらりと立ち寄られた方も、吹奏楽経験のある方も、そうでない方も……本日の場に来てくださった全ての皆さまにこの時間を楽しんでいただき、演奏会名の通り、お家にいるように寛ぎ癒される“アットホーム”な演奏会となることを願っております。

AとHome Concert 実行委員長

A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ 藤村晃世



Stage 1

ダンシング アンド ドラミング

この曲の作曲者であるT.スサートはルネサンス期に活躍した作曲家兼楽譜出版業者です。時代としては古楽ですが、吹奏楽ではフィリップ・ジョーンズ・ブラス・アンサンブルによる金管重奏としてのイメージが強いのではないのでしょうか。そのスサートのパヴァーヌ「戦い」を吹奏楽用に編曲しています。ルネサンス音楽の素朴さが現代的なオーケストレーションで輝きを増しています。打楽器も活躍し、オープニングにふさわしい華やかな曲です。

ヴェネチアの魔法

イタリア東北部に位置するヴェネツィアは、多くの偉大な芸術家が生まれ、優れた文化財も数多く残る街です。その素晴らしい街ヴェネツィアと、そこに関わった作曲家達への賞賛が込められたこの曲は、指揮者である T.レイニッシュの依頼により作曲され、彼の60歳の誕生日に贈られました。

大編成のウインドアンサンブルから取り出されたアンサンブルを用いた、4つの楽章からなる楽しい曲です。

1、コンツェルトンテ（アントニオのアレグロ）

ヴェネツィア出身の作曲家アントニオ・ヴィヴァルディ（1678-1741）のスタイルに類似した変奏曲を演奏するグループ（ハーブシコードの特徴的な音色が用いられています）が、大編成のブラスアンサンブルに彩りを添えています。二つのグループによりテーマが展開し、威厳に満ちた気高い結末を迎えます。

2、バ・ドゥ・ドゥ（イゴールのラメント）

ロシアの作曲家イゴール・ストラヴィンスキー（1882-1971）と芸術プロデューサーであるディアギレフはの二人は、ヴェネツィアのサン・ミケーレ島に埋葬されています。楽章全体にわたる情熱的なワルツに、繊細な間奏が織り込まれています。

3、タベの祈り（クラウディオの黄昏）

コールアンゲレ、アルトクラリネット、ダブルバスーンの繊細な響きが特徴的な楽章です。チャイムの音色は、黄昏時に教会で奏でられるパイプオルガンを思い起こさせます。ヴェネツィアの中心にあるサン・マルコ教会の楽長であるクラウディオ・モンテヴェルディ（1567-1643）のスタイルそのままではありませんが、彼の魂が感じられます。

4、フェスティエヴォ（ジヨバンニのカノン）

フィナーレは、大都市の祭りの祝典音楽です。カノン風のメロディーが楽章を作り上げています。透き通った音色とともに、終始力強く、ヴェネツィアで誕生し、サン・マルコ教会で活躍した作曲家ガブリエリ（1554-1612）も驚くほどの壮大な結末です。

Stage 2

交響組曲「ハリー・ポッターと賢者の石」

2014年7月15日にユニバーサル・スタジオ・ジャパンで「ウィザーディング・ワールド・オブ・ハリーポッター」が開園されたニュースは皆様もご存じではないでしょうか。

この曲は世界的大ヒットを遂げたシリーズ第1作目「ハリーポッターと賢者の石」より、特に有名な曲ばかりを集めたメドレー作品です。映画の“幻想的で不思議に満ちた世界”を見事に表現したジョン・ウィリアムズの音楽は素晴らしく、映画をご存じない方もその世界に入っていけるほど。

吹奏楽編曲を手掛けたのは「伝説のアイルランド」や「海の男達の歌」で有名な、ロバート.W.スミスです。

この組曲は「ヘドウィグのテーマ」「ニンバス2000」「ホグワーツ・フォーエヴァー」「クイディッチ」「ホグワーツを離れる」「ハリーの不思議な世界」の計6曲で構成されています。

冒頭は、原曲の雰囲気そのままに再現された「ヘドウィグのテーマ」で始まります。ヘドウィグは主人公ハリーのペット、フクロウでありこの曲が映画のメインテーマになっています。魔法使いや魔女が空を飛ぶ魔法の箒に乗って行う「クイディッチ」では箒に乗る選手達のスピード感や観客の活気が音楽で表現されているようです。「ハリーの不思議な世界」はこの映画のエンディングテーマです。この組曲でハリーポッターの世界観を少しでもお楽しみいただければ幸いです。

究極の吹奏楽～ジブリ編「風の谷のナウシカ」

この曲は日本が誇るアニメーション映画を数多く手がけた、宮崎駿監督の第2作目『風の谷のナウシカ』より選抜された至極の名曲メドレーです。

曲は宮崎駿監督自身の同名原作漫画をもとに、久石譲氏がサウンドトラックとは別に作曲されたイメージアルバムの中からも選曲されています。

吹奏楽編曲は、1991年度全日本吹奏楽コンクール課題曲「コーラル・ブルー」などの作曲をはじめ、今や吹奏楽の定番曲である「宝島」「オーメンズ・オブ・ラブ」などの編曲でも有名な、真島俊夫氏です。

“究極”の名のごとく、映画のシーンを彷彿とさせる構成となっており、映画ファンにはたまらない1曲となるでしょう。曲中のピアノ演奏は、映画ファンならずとも聴き入ってしまう主役級のソロとなっておりますので、そちらにもご注目下さい。

ミッキー・マウス マーチ

1955年から1996年まで、アメリカで放送されていた子供向け番組『ミッキーマウス・クラブ』のオープニングソングとして起用され、ミッキーのテーマソングとして定着し、世界中のディズニーランドでも使用されてきました。ご存知の通り「小さな世界」や「星に願いを」と並んで、ディズニーを象徴する1曲です。本日演奏しますのは、日本トップクラスの若手アレンジャーが手掛けた「究極の吹奏楽～夢の国編」シリーズです。本シリーズのコンセプトは「難易度は高いが、やりがいのあるポップス」となっています。今まで聴いた事のない、ワクワクするようなサウンドに仕上がっていますので、奏者と客席が一体となって楽しめることでしょう。曲中、手拍子と「Mickey Mouse!!」「Leader of!!」「Our club!!」とお馴染みの歌詞で盛り上げますので、皆様もぜひ一緒にどうぞ!!

Stage 3

ヴィヴァ・ムシカ!（音楽万才）

この曲はシカゴにあるヴァンダークック音楽大学のバンドが、1983年12月のシカゴでのミッドウエスト・バンド・クリニックで演奏するために、学長のジェイムス・ギルワースが直接手紙でリードに依頼してできた曲です。

リードは「ヴァンダークック音楽大学が、長年すぐれた音楽の先生を養成してすばらしい成果を上げていることをたたえ、また音楽教育に携わる先生方すべてをたたえるという意味で『ヴィヴァ・ムシカ!(音楽万才)』というタイトルをつけた」と述べています。

曲はアレグロ・プリランテ(速く・輝かしく)の形で、金管の主要動機により開始されますが、木管楽器のフーガ風なこまかい動きが中心となり、これが7/8拍子や8/8拍子の変拍子を交えてめまぐるしく展開されます。

ゆっくりした中間部を持たないで、速く・華やかに一気に喜びがうたいあげられます。

アルメニアンダンス

作曲者であるアルフレッド・リードは1921年にニューヨークで生まれました。幼少の頃から音楽に対する関心が高く、高校生の時にはすでにプロのトランペッターとして活動をしていました。彼が発表した200曲にも上る作品は世界中で盛んに演奏されており、名実ともに現代の吹奏楽を代表する作曲家といえます。今回演奏する「アルメニアンダンス」はリード自ら最高とみなした作品で、プロの指揮者・プレイヤーも同様に「吹奏楽曲の最高傑作」と口をそろえて言う名曲です。

この曲は、アルメニア系のアメリカ人で当時イリノイ大学シンフォニックバンドの指揮者であったハリー・ベギアン（英語版）の委嘱で作曲され、1973年にまずパート1が、1975年にはパート2が同バンドで初演されました。作品の規模が大きいため、別の作品として扱われることも多いのですが、本来4楽章から成る1つの曲と考えられています。この曲の素材は4000曲ものアルメニア民謡の蒐集で知られるゴミタス・ヴァダベットの民謡集から取られています。ゴミダスはアルメニアの民族音楽研究家でしたが、46歳の時にアルメニアの他の知識人と共にオスマン帝国によるアルメニア人迫害を受けます。その時行われた150万人ものアルメニア人の大量虐殺を目の当たりにした彼の精神的打撃はすさまじく、二度と回復することなく1935年、パリの病床でその生涯を終えます。そのため、ゴミダスはこの大虐殺の悲劇の象徴とされています。

Part 1

次の5曲の民謡が順に用いられます。

「あんずの木」

あんずの木よ、失恋の悲しみを揺り動かささないでくれ、と嘆く哀歌です。

「やまうずらの歌」

やまうずらのよちよち歩きを描写したような木管の愛らしいメロディーが続きます。

「おーい、私のナザン」

打楽器が5/8拍子のリズムを刻みます。ナザンという少女に対する若者の愛の歌です。

「アラギヤズ」

標高4,095mを誇るアルメニアの最高峰の山の名です。自然の美しさを讃える息の長い旋律が歌いつがれていきます。

「ゆけ・ゆけ」

テンポの速いエキサイティングな終曲。少女たちの笑い声を模倣した音型が何回も表れます。

Part 2

第1楽章「農民の訴え」

一人の若者が山に向かって「風よ吹け、そして私の悩みを吹き飛ばしてくれ」と歌う叙情的な歌です。

第2楽章「婚礼の踊り（クーマー）」

クーマーとはアルメニア人の女性の名前です。とある村の、若い男女の出会い、そして結婚の日の楽しい様子を歌ったものです。

第3楽章「ロリからの歌」

農民たちの労働の歌であり、彼らの肉体、精神とも深く結びついたもので、心からの願いと叫びの表れでもあります。

曲の随所には、ロシアン・ワルツ、コサック 風な踊りなどが配され、リードの作品の中でも民族色豊かな作品で単なる舞曲集に留まらない、とても奥深い作品です。



A-Winds

SINCE 1999
NARA AMATEUR WIND ORCHESTRA

A-Winds 奈良アマチュアウィンドオーケストラ

A-Winds 奈良アマチュアウィンドオーケストラは1999年10月、古都奈良に誕生し、今年で創団15周年を迎えたアマチュア吹奏楽団です。「A-Winds (エー・ウインズ)」の“A”は「アマチュア(Amateur)」の“A”であり、アマチュアならではの音楽づくりを追求することを標榜しています。演奏者一人一人の音楽づくりを演奏に反映できる、管打楽器アンサンブルの延長上としての最小人数の吹奏楽=ウィンドアンサンブルを指向し、また、吹奏楽の特性を最大限に発揮できる吹奏楽オリジナル曲を中心に取り上げていくことを活動方針としています。

A-Winds は亀をモチーフにした「タクトル」をイメージキャラクターにしています。亀のように「のんびり ゆっくり のろのろ」と。周りに流されず自分たちのペースで、でも着実に前進していきたい、そんな想いが込められています。

1999年12月、いかるがホールでのデビュー演奏会を皮切りに、年3回のペースで定期演奏会を開催し、本日が44回目の演奏会となります。これまでに中西勲氏、小谷康夫氏、井村誠貴氏、吉崎直之氏、高昌帥氏、高谷光信氏、松下浩之氏ら、数多くの奏者・指揮者の方々と共演しています。20回記念となった2006年春の演奏会において、高昌帥氏の委嘱作品「Mindscape for Wind Orchestra」を初演。また40回記念の2013年夏の演奏会では、A-Windsの活動拠点である大和郡山市のシンボル、金魚をモチーフにした前田恵実氏の委嘱作品「SUKU-SUKU」を初演しました。

【主な成績】

第56回奈良県吹奏楽コンクール 金賞、奈良県代表(2014年)、第64回関西吹奏楽コンクール 銀賞(2014年)、第20回奈良県アンサンブルフェスティバル Sax 四重奏 あんふえす大賞(2012年)、第28回全日本アンサンブルコンテスト 打楽器七重奏 銀賞(2005年)

【その他の主な活動】

奈良県吹奏楽連盟主催事業「バンドパラダイス」「Brass Aid」への出演、奈良県吹奏楽連盟一般部会主催「おでかけクリニック」にて県内の中学校吹奏楽部へ訪問、子ども会や公民館等への訪問演奏、世界的指揮者 佐渡裕氏による指揮クリニックのモデルバンドを務める(2001年、2002年)、「Joyful Brass 2009」を三木ウィンドフィルハーモニーと共催(2009年 於:ザ・シンフォニーホール)

Piccolo & Flute 佐藤 由加里 佐藤 司 魚谷 陽子 小谷 愛奈	B ^b Clarinet 竹村 明恵 森本 幸恵 近藤 晴美 米田 彩乃	Alto Saxophone 島田 博一 三宅 利幸	Horn 久野 耕三 } 大田 雅美 佐伯 直人 富川 陽太	Trombone 小泉 文浩 進藤 梓 田中 由美 木下 真由美	Contra Bass 佐藤 良一
Oboe 桶谷 牧子 松井 志穂	Alto Clarinet 大西 晴己	Tenor Saxophone 初岡 和樹	Trumpet (Cornet) 魚谷 昌克 表 恭子 竹腰 綾香 井上 寛治 谷田 弥生 鎌田 麻友 山本 洋介	Euphonium 藤村 晃世 尾登 勇介 池内 砂織	Percussion 久保 寛美 松嶋 春香 浦野 佳美 梶本 雅子 小野 聖子
Fagotto 満江 孝文	Baritone Saxophone 八木 理 } 宮本 祐輔	Tuba 杉浦 小道 岸本 和	Piano 八木 真木		



タクトル

} = 休団
団員合計 43名



Symphonic Home

シンフォニックホーム

平成4年秋に発足しました。当初は奈良県立生駒高等学校吹奏楽部OB会『生駒シンフォニックホーム』として活動を開始しました。その後数々の方のお力添え、加入によって平成9年『シンフォニックホーム』と改名し、現在奈良県を中心に活動をしています。

『シンフォニックホーム』とは、団員みんなが家族のように親しく、明るく、楽しい雰囲気の中で活動できる場、すなわち、何の気兼ねもない第2の『家』のようなものを作りたいという気持ちから命名しました。シンフォニックホームでは部活動でよく見られる先輩・後輩といった関係は感じさせなく、すなわち、末っ子でも言いたいことややりたいことを素直に言える雰囲気創りを心がけています。『音楽』とは元来、文字の通り『音を楽しむ』ものです。私たちはこの基本理念を忘れずに活動することを最も大切にしたいと思っています。しかし、それは『楽しければそれでいい』というものではありません。演奏者が『音楽の真の楽しさ』を知り、それを人に伝えるには、多大な努力とやる気、それに勉強が必要です。そのための厳しい練習は必要不可欠であり、真剣に取り組みます。そして、その結果味わえる満足感やお客様との一体感こそが、私たちが求めている『音楽』なのです。「明るく楽しいアットホームな家で真剣に音楽を語り合う」これがシンフォニックホームのコンセプトです。

【年間行事と活動】

年一回の定期演奏会・吹奏楽連盟主催のコンクールをはじめとする各行事への参加・依頼演奏等。
定期演奏会は昨年度第20回を迎え、今年度は2015年3月22日(日)大和高田市さざんかホールにて第21回定期演奏会の開催決定。
コンクールは1997年から参加。奈良県大会において、金賞13回(内奈良県代表8回)、銀賞5回。奈良県代表として関西大会では、金賞1回、銀賞5回、銅賞2回。
その他、ヤマハ主催夢限コンサート in 大阪城ホールに出演。東京公演など。

Piccolo & Flute 鎌田 早苗 藤本 美和 畑 由実 尾崎 良江	B ^b Clarinet 萩森 あづさ 大久保 史子 大平 多美 高畑 千裕 桜井 枝理子 奥田 亮太郎 土谷 恭子	Alto Saxophone 原田 涼介 堀川 恵佳 辻井 秀美	Horn 鎌田 学 巽 由佳 今 理恵	Trombone 森田 恭弘 吉井 瑞希 阿瀬川 真奈	Percussion 岩尾 悠祐 大川 由華 大住 あかり 小坂 仁美 杉淵 貴之 當麻 良平 中島 沙也可 西川 文志郎 前田 幸宏 宮下 唯 森本 友紀子
Oboe 村尾 泰徳	Tenor Saxophone 山本 智子	Trumpet (Cornet) 梅本 智也 辻本 智子 林 智美 藤岡 はるか 松原 宏幸	Euphonium 藤井 彩香	Tuba 稲田 隆治 華萌 那美 藏本 実香	Contra Bass 嶋崎 綾香
Bass Clarinet 竹内 弘輝 西元 興嗣					



かつはちゃん

団員合計 45名



主 催

A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ
シンフォニックホーム

後 援

奈良県・奈良県吹奏楽連盟
橿原市・橿原市教育委員会・大和郡山市・大和郡山市教育委員会